

未来へ夢を育む学校



学校だより

(題字 学校長)
7月号 学校長 望月 重晴

絆をつくる「ひまわりプロジェクト」

副校長 小野 雅美

二十四節季で見ると、6月21日から7月6日は「夏至」の時期になります。一年で最も昼の時間が長い6月21日は、ちょうど立夏と立秋の真ん中に当たります。まだまだ雨の日が続きますが、「夏に至る」と書くように、いよいよ夏の盛りに向かっていきます。

白幡小学校にも夏の訪れを感じる素敵な花々が元気に咲いています。先日、白幡小学校の花植え隊としてご協力いただいている佐藤 智子さんにお会いしました。「この花たちは雨がしっかりと当たるような場所に移動させないと。」「これは強いだよ。切って挿し枝として土に植えても育つのよ。」など、お話の中には花への思いや愛情がたくさん溢れていました。そんな佐藤さんからのアドバイスを受けて環境委員会が今年度から取り組んでいる活動が「福島ひまわり里親プロジェクト」です。これは、東日本大震災で被災した福島への復興支援活動のひとつです。福島県から送られてきたひまわりの種を白幡小学校で育て、そこから採れたひまわりの種を再び福島へ贈り返します。集まった種は福島県内の学校や市町村、観光施設などに寄贈され、ひまわり畑を作る活動へと広がっているそうです。また、ひまわりの種からバイオエネルギーを抽出し、福島交通のバスの燃料としても活用しているそうです。ひまわりを育てる取組みが絆を作り、復興を目指している方々の応援となる素敵なプロジェクトが白幡小学校で始まっています。職員室の前の花壇に、たくさんのひまわりの花が咲くことを、今からとても楽しみにしています。



◆学校の教育活動の様子については、学校ホームページに掲載しています。ぜひご覧ください。

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shirahata/>

スマホ等はこちらから→

